

令和7年1月22日

令和7年度プロジェクト業務報告書

図書館学生インターンシップ

名古屋女子大学 文学部 児童教育学科 3年

短期大学部 保育学科 第三部 3年

1.背景

図書館・学生インターンシップの就業では、図書館での通常業務に加えて、学生が主体となって様々な観点から図書館をよりよくするプロジェクト業務を行った。月に一回企画会議を行い、図書館の利用者として、そして業務を行うスタッフの一員としての気づきを挙げ、改善点を話し、業務課題をまとめた。それらの業務課題をインターン業務の中で実行し、課題解決に向けて尽力した。

2.プロジェクト業務

企画会議では昨年度に引き続き、取り組みたい業務課題についてメンバーと職員の方々と話し合い、学部別アイコンの作成、配架改善「探し方ガイド」、教科書配架図の作成、83の棚サイン作り、新着カバー展示、全体展示、の6項目に分かれて活動を行った。以下は、各々で行ったプロジェクト業務の内容である。

①学部別アイコン

来年の共学化に合わせて、ユニバーサルデザインを意識し、様々な人が見やすく理解しやすいような学部のアイコンを作成した。



利用者が本を探しやすいように探し方ガイドを作成した。①の学部別アイコンを地図に入れたバージョンと番号のバージョンを作り、大まかに本を探したい、目的の本をしっかりと探したいという用途に合わせられるようにした。

検索パソコン付近に配置予定。

④83 の棚サイン作り

メンバー内や利用者の中で、「83 の棚の続きがどこにあるか分かりづらい」という声が多く挙がったため、より分かりやすく場所を伝えるためのサイン作りを行った。



⑤新着カバー展示

新着カバー展示のボードに貼った本を探しやすくするために、展示したカバーの本の置き場を作り、一カ所に集めた。また、インターン生が作業をしやすいようにマニュアルを作成した。(別紙資料参照)

ここにある本は…

ゲートを通った先にある展示台下の一番手前の棚にあります

ゲート横のボードに展示してあるカバーの本はここです

⑥プロジェクト全体展示【名女大図書館で世界を巡る】

・香辛料 ・映画 ・建築 ・文化 ・インテリア の五つのテーマを掲げ、世界をテーマに紹介した。

〈香辛料〉

香辛料とは何かという基本的なところから、主要な香辛料についての説明、香辛料を用いた料理のレシピなど、多様な角度から香辛料を紹介した。



〈映画〉

様々な国が舞台となった名作映画を紹介するとともに、図書館でも映画を観ることが出来るということを宣伝した。好きな映画、観てみたい映画にシールを貼ってもらってアンケート調査を行った。



〈建築〉

世界中の美しい建物と建築家について紹介した。建築に明るくない人にも良さや独創性が伝わるよう、分かりやすく丁寧な言葉で伝えた。ポップアップ絵本なども駆使して立体的な展示作成を工夫した。



〈文化〉

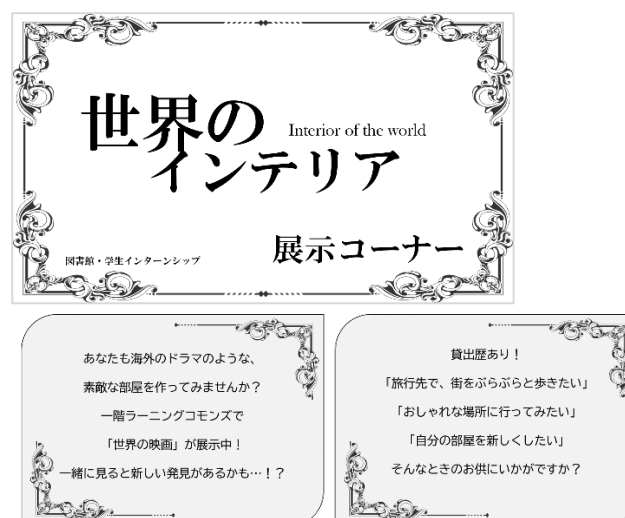
世界の国々で行われている祭りや、それぞれの国で食べられている料理について紹介した。資料ごとに参考にした図書資料とそのページを添え、興味を持った人がすぐにアクセスできるよう工夫した。



〈インテリア〉

普段何気なく使用しているテーブルや椅子、カーテンや照明などのインテリアについて、歴史や豆知識、家具としてだけではなく使い方や魅力などを紹介した。気になったものをすぐに見ることができるよう、関連する図書を並べて展示した。

また、展示しているものの利用頻度が少ない資料について、利用者が借りてみたいと思えるようなPOPを作成するなど、よりよい展示にしていく工夫を施した。



3.まとめ

今年度からインターン生として業務に携わりましたが、一利用者としての目線だけでなく、図書館を運営するスタッフとして図書館を見るというのは、新鮮で面白いと感じました。図書館を利用している際に感じていた疑問や、「こうだったらいいのにな」という要望が、実際に業務する中で解明・解決されていったり、自分たちで改善していくことが出来たりして、楽しさや達成感を味わえました。特に、プロジェクト展示を見た利用者にシールを貼ってもらってアンケート調査を行うのは、利用者の反応が分かりやすく可視化されるため、やりがいを感じるとともに、よりよい図書館にしたいというモチベーションにも繋がりました。

業務全体を通して、業務中のインターン生同士の会話が少なかったり、企画会議の際に発言する人に偏りが生じたりしていると感じました。前者に関しては、私自身、一人で行うプロジェクトや一人での勤務が多く、誰かと話し合いながら業務に取り組むということが少なかったからそう感じたという部分もあると思います。後者に関しても、実習等で会議を欠席することが何度かあり、私が欠席した会議ではその限りでないという可能性も十分に考えられます。故に私の主観とはなってしまいましたが、業務範囲内でのインターン生同士のコミュニケーションを増やしていく必要があると感じました。

インターン業務全体を通して、人に興味を持ってもらえる・楽しんでもらえる物を作るためには、多角的な視点が必要であることを、経験や実践と共に学ぶことが出来ました。これから社会人として世に出る上で非常に大切な学びであったと思います。来年度もよりよい図書館になっていくことを楽しみにしています。

昨年に引き続き参加させていただき、2年間活動しました。今年も新しいインターン生が入ってきたことで今まで見つけられなかった課題を見つけ、解決することができました。今年はプロジェクト業務が多く、作業提案も多かったように感じます。一人一人の細かい“使いにくい”への着眼点から図書館がより使いやすくなったと感じました。また、来年共学化になるということもあり様々な人がいることを考えた活動もできたと思います。

展示では全体のテーマから個々の展示へと繋がっていく繋がりを感じられる展示ができ、新しい展示のスタイルが確立されたと感じました。

課題として、基本業務の間違いが多かったように思います。作業の流れや内容を知っていても、過信をしないでマニュアルの確認を行い、丁寧に作業をすること、引き継ぎのある場合には次に作業をする人に伝わるように記すことが大切だと感じました。相手のことを考えて作業をすることがインターンの作業をスムーズに行うことに繋がり、今後社会に出た時にも役立つスキルだと学びました。

学科の違う人たちと交流し、様々な価値観、視点があることを学び、責任感のある仕事が

経験できて良かったです。来年以降も新しい仲間と共によりよい図書館になっていくことを願っています。

以上

<別紙：新着作業マニュアル>

【新着カバー展示&新着台作業の流れ】

1. 展示したいカバーを選びその本を集める。

※「学科選書」のブックトラックにある本は対象としない。

カバーも新着ボードに展示しない。



2. 1.で集めた本に「新着台」シールを貼る。

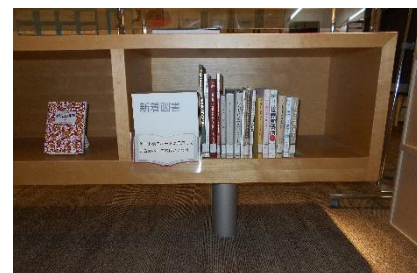


貼付位置：バーコードラベルの「名古屋女子大学学術情報センター」記述部分の上

糊付け不要!!

3. 本を新着台に配架する。

→新着台は、**展示台下・新着図書**の一番ゲートに近い棚



4. カバーを新着ボードに展示する。

※取り外したカバーは廃棄する。

5. 入れ替えで新着台から降ろした本は配架する。

配架する前に「新着台」シールを剥がす。



注意!! 返却本や返本台の本を配架する際に、「新着台」シールが貼ってあったら新着台に戻す。